

第8 企業会計決算の状況

県が独立採算性を原則とする企業的色彩の強い事業を行う際に、法律や条例によって設置するもので、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業の会計をいいます。

企業会計は、公共の福祉を目的とするとともに、企業の経済性を発揮することも求められており、その経理については、地方公営企業法の定めるところによります。

この会計方式は、一般のいわゆる官公庁会計が現金主義により経理されるのに対し、発生主義に基づく複式簿記により経理される点で大きく異なっています。

三重県では、公共の福祉を増進するため、水道事業、工業用水道事業、電気事業及び病院事業の4事業の経営を行っていますので、以下、それぞれの企業会計ごとに、その決算状況を説明します。

1 水道事業の概況

営業関係では、南勢志摩水道用水供給事業（給水能力139,850 m^3 /日）及び北中勢水道用水供給事業（北勢系・木曾川水系：給水能力80,300 m^3 /日、北勢系・三重水系：給水能力51,000 m^3 /日、北勢系・長良川水系：給水能力18,000 m^3 /日、中勢系・雲出川水系：給水能力81,416 m^3 /日、中勢系・長良川水系：給水能力58,800 m^3 /日）の2事業を運営し、平成28年度は県内18市町に対し、延べ72,137,606 m^3 の給水を行いました。

平成28年度の営業成績について、事業収益は8,944,668千円（対前年度比99.6%）で、内訳は、営業収益8,019,235千円（対前年度比99.7%）及び営業外収益925,433千円（対前年度比98.8%）であり、また、事業費用は8,606,049千円（対前年度比97.9%）で、内訳は、営業費用7,970,833千円（対前年度比98.6%）及び営業外費用635,215千円（対前年度比90.3%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額338,619千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業については、水道水の安定した供給を図るため、施設の耐震化や老朽化対策を実施しました。

平成28年度損益計算書（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	7,970,833	営業収益	8,019,235
原水及び浄水費	2,393,448	給水収益	8,006,015
配水費	595,368	その他営業収益	13,220
業務費	378,691		
総係費	334,314		
減価償却費	4,061,185		
資産減耗費	207,828		
営業外費用	635,215	営業外収益	925,433
支払利息	612,112	受取利息	3,696
受託工事費	22,271	他会計補助金	60,265
雑支出	833	受託工事収益	22,271
		長期前受金戻入	813,623
		雑収益	25,579
当年度費用合計	8,606,049		
当年度純利益	338,619		
合 計	8,944,668	合 計	8,944,668

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

平成28年度損益計算書＜P/L＞（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方	貸 方
営業費用 7,970,833 (89.1%)	営業収益 8,019,235 (89.7%)
営業外費用 635,215 (7.1%)	営業外収益 925,433 (10.3%)
当年度純利益 338,619 (3.8%)	

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

貸借対照表<B/S> (平成 29 年 3 月 31 日現在)

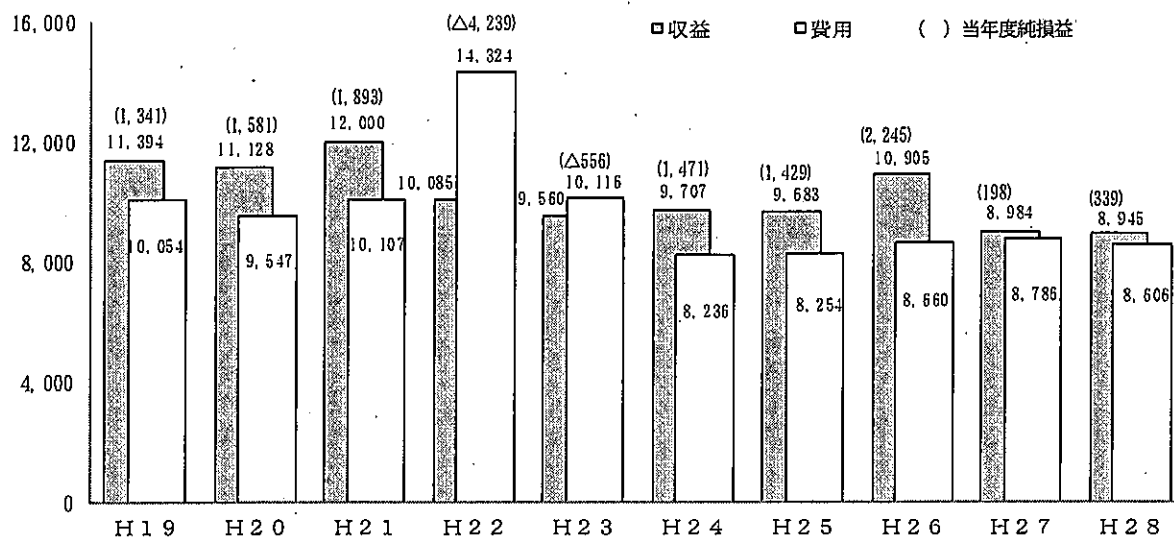
(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
固定資産 127,609,484 (90.7%)	固定負債 24,749,057 (17.6%)
	流動負債 3,609,653 (2.6%)
	繰延収益 23,799,769 (16.9%)
	資本金 87,055,897 (61.9%)
流動資産 13,010,456 (9.3%)	剰余金 1,405,565 (1.0%) 資本剰余金 869,153 利益剰余金 536,412

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移

(百万円)



(四捨五入のため、差引が合わない場合があります。)

2 工業用水道事業の概況

営業関係では、北伊勢工業用水道事業（契約水量 725,480 m³/日）、中伊勢工業用水道事業（契約水量 17,410 m³/日）、松阪工業用水道事業（契約水量 38,500 m³/日）の3事業を運営し、県内企業の生産活動における水需要に応えるため、平成28年度においては107工場に対し、延べ207,177,843 m³の工業用水を供給しました。

平成28年度の営業成績について、事業収益は5,662,781千円（対前年度比100.3%）で、内訳は、営業収益5,196,891千円（対前年度比100.0%）及び営業外収益465,890千円（対前年度比103.0%）であり、また、事業費用は5,071,666千円（対前年度比98.2%）で、内訳は、営業費用4,781,093千円（対前年度比98.7%）及び営業外費用290,573千円（対前年度比90.9%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額591,115千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業については、地震等の災害に備えるとともに工業用水の安定給水を図るため、北伊勢工業用水道等の老朽化施設の更新・補強工事など施設改良を計画的に実施しました。

平成28年度損益計算書（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	4,781,093	営業収益	5,196,891
原水及び浄水費	1,416,717	給水収益	5,005,308
配水費	188,531	その他営業収益	191,583
業務費	350,023		
総係費	259,644		
減価償却費	2,372,817		
資産減耗費	193,361		
営業外費用	290,573	営業外収益	465,890
支払利息	278,544	受取利息	2,284
受託工事費	11,455	他会計補助金	2,333
雑支出	574	受託工事収益	11,455
		長期前受金戻入	415,963
		雑収益	33,854
当年度費用合計	5,071,666		
当年度純利益	591,115		
合 計	5,662,781	合 計	5,662,781

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

平成28年度損益計算書<P/L> (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
営業費用 4,781,093 (84.4%)	営業収益 5,196,891 (91.8%)
営業外費用 290,573 (5.1%)	
当年度純利益 591,115 (10.5%)	営業外収益 465,890 (8.2%)

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

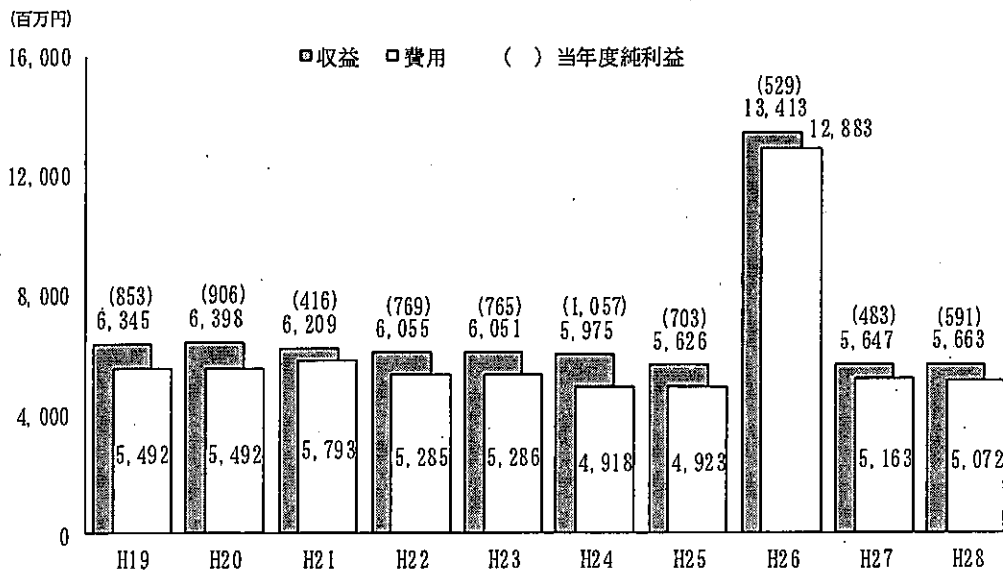
貸借対照表<B/S> (平成29年3月31日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
固定資産 100,447,127 (90.9%)	固定負債 15,710,884 (14.2%)
	繰延収益 17,630,973 (16.0%)
	資本金 72,389,047 (65.5%)
流動資産 10,017,558 (9.1%)	流動負債 2,430,549 (2.2%)
	剰余金 2,303,232 (2.1%)
	資本剰余金 1,228,710
	利益剰余金 1,074,522

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、差引が合わない場合があります。)

3 電気事業の概況

RDF焼却・発電事業については、三重ごみ固形燃料発電所において、製造団体からRDF45,692トンを受け入れ、62,866,600 kWhの発電を行いました。

平成28年度の営業成績について、事業収益は1,245,292千円（対前年度比41.7%）で、内訳は、営業収益1,145,037千円（対前年度比89.6%）、営業外収益85,045千円（対前年度比29.0%）及び特別利益15,210千円（対前年度比1.1%）であり、事業費用は1,175,697千円（対前年度比61.0%）で、内訳は、営業費用1,174,406千円（対前年度比66.1%）及び営業外費用1,291千円（対前年度比7.0%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額69,596千円が当年度の純利益となりました。

平成28年度損益計算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	1,174,406	営業収益	1,145,037
RDF発電費	890,410	電力料	728,160
一般管理費	283,996	その他営業収益	416,877
営業外費用	1,291	営業外収益	85,045
支払利息	300	受取利息	2,491
雑支出	991	他会計補助金	1,140
		長期前受金戻入	41,390
		雑収益	40,024
		特別利益	15,210
		固定資産売却益	15,210
当年度費用合計	1,175,697		
当年度純利益	69,596		
合 計	1,245,292	合 計	1,245,292

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

平成28年度損益計算書<P/L> (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：千円、% (構成比))

借 方	貸 方
営業費用 1,174,406 (94.3%)	営業収益 1,145,037 (92.0%)
営業外費用 1,291 (0.1%)	営業外収益 85,045 (6.8%)
当年度純利益 69,596 (5.6%)	特別利益 15,210 (1.2%)

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

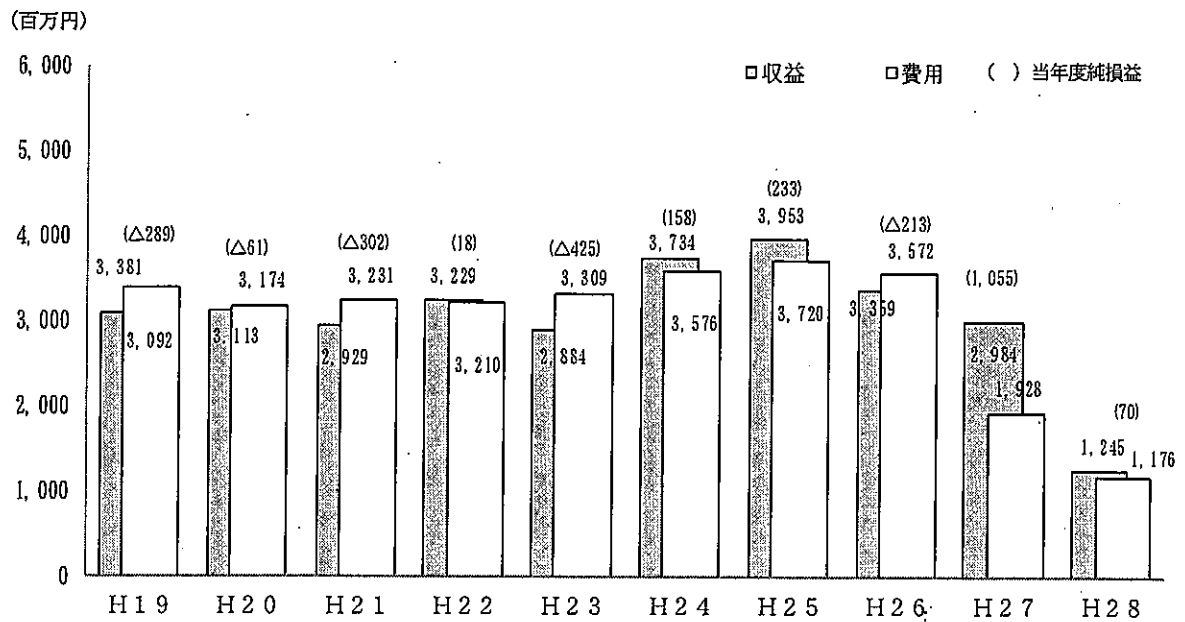
貸借対照表<B/S> (平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借 方	貸 方
固定資産 2,900,379 (23.4%)	固定負債 338,058 (2.7%)
	流動負債 254,595 (2.1%)
	繰延収益 155,532 (1.3%)
流動資産 9,482,393 (76.6%)	資本金 12,963,625 (104.7%)
	剰余金 △1,329,039 (△10.7%)

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、差引が合わない場合があります。)

4 病院事業の概況

三重県病院事業においては、こころの医療センター、一志病院及び指定管理者制度を導入した志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんや地域に信頼され、かつ医療従事者にとって魅力ある病院づくりを進めながら、良質で満足度の高い医療サービスを提供しているところです。

平成28年度は、こころの医療センターにおいては、県内の精神科医療の中核病院としての取組など、一志病院においては、総合診療医（家庭医）を中心としたプライマリ・ケアの取組など、それぞれの役割やニーズに応じた病院運営を行うとともに、経営の健全化に取り組んできました。また、志摩病院においては、指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会により、診療体制の回復を図りながら、志摩地域の中核病院としての取組を進めました。

これらの3病院の運営状況については、入院患者数が延べ198,984人（1日平均545.2人）、外来患者数が延べ160,458人（1日平均660.3人）で、前年度に比べ入院患者数は延べ9,134人の増加、外来患者数は延べ95人の増加となりました。

収益については、医業収益におけるその他医業収益や医業外収益における一般会計からの繰入金が増加したことから、経常収益は5,504,205,494円となり、前年度に比べ1.4%増加しました。

また、費用については、医業費用において給与費と経費が増加した一方で、減価償却費などが減少したことから、経常費用は5,392,431,766円となり、前年度に比べ0.7%増加しました。

その結果、これらを差引した経常損益は111,773,728円の黒字となりました。

なお、建設改良費については、こころの医療センターにおける東2病棟地域生活支援施設化改修工事や一志病院における診療棟ほか改修工事、志摩病院における超伝導磁気共鳴画像診断装置（MRI）の更新等により総額399,086,437円を執行しました。

平成 28 年度損益計算書 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
医業費用	5,132,406	医業収益	2,847,205
給与費	2,740,808	入院収益	2,183,083
材料費	254,252	外来収益	520,923
経費	1,537,299	その他医業収益	143,199
減価償却費	568,699		
資産減耗費	20,193	医業外収益	2,657,000
研究研修費	11,154	受取利息配当金	181
医業外費用	260,026	他会計補助金	152,940
支払利息及び企業債取扱諸費	131,765	長期前受金戻入	242,551
長期前払消費税償却	42,823	補助金	5,459
患者外給食材料費	291	負担金・交付金	1,975,463
雑損失	85,147	その他医業外収益	280,406
特別損失	0		
当年度費用合計	5,392,432	特別利益	0
当年度純利益	111,774		
合 計	5,504,205	合 計	5,504,205

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

損益計算書<P/L> (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：千円、% (構成比))

借 方	貸 方
医業費用 5,132,406 (93.3%)	医業収益 2,847,205 (51.7%)
医業外費用 260,026 (4.7%)	医業外収益 2,657,000 (48.3%)
特別損失 —	特別利益 —
当年度純利益 111,774 (2.0%)	

貸借対照表<B/S> (平成29年3月31日現在)

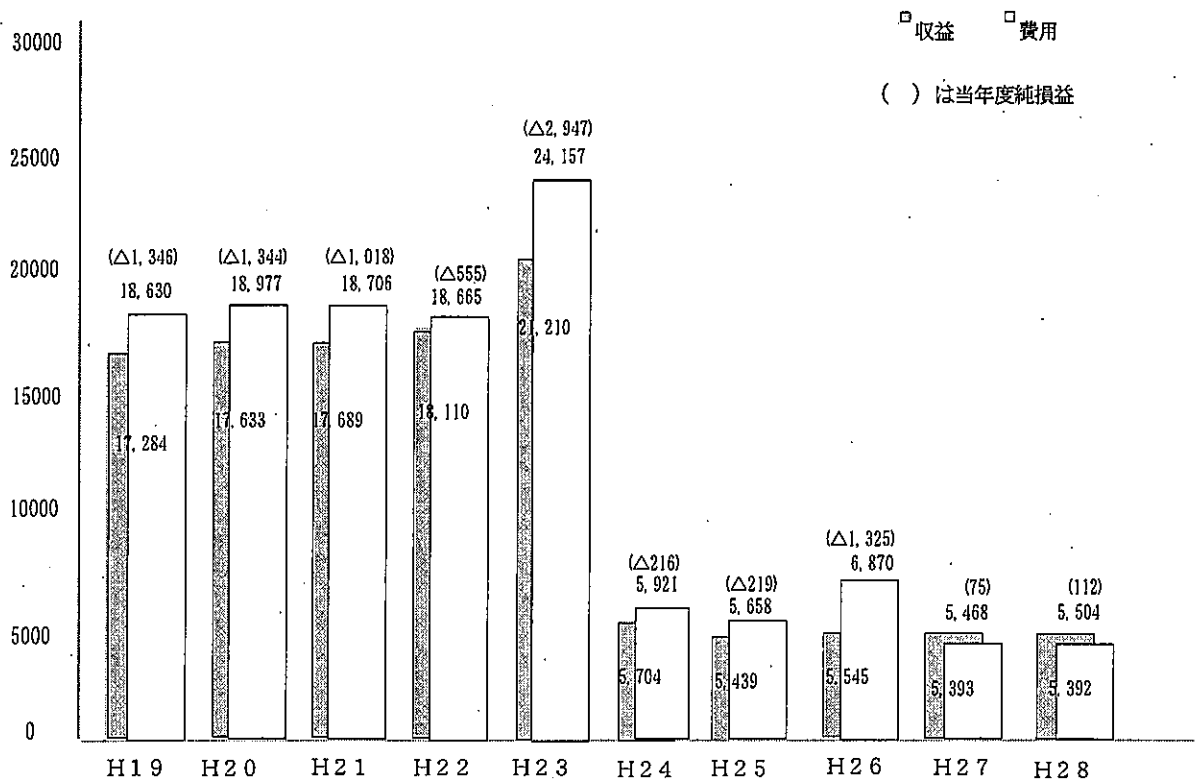
(単位：千円、% (構成比))

資 産		負債・資本	
固定資産	8,970,553 (86.4%)	固定負債	13,760,767 (132.5%)
		流動負債	1,342,996 (12.9%)
		繰延収益	2,796,586 (26.9%)
流動資産	1,416,508 (13.6%)	資本金	311,410 (3.0%)
		剰余金	△7,824,697 (△75.3%)
		資本剰余金	1,371,408
		欠損金	9,196,106

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移

(百万円)



(四捨五入のため、差引が合わない場合があります。)